

大 使 館 情 報

2021 年 3 月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

【内政】

- (1) 上下両院議長選挙結果
- (2) 連邦議会第 56 会期・3 年目の開会に関する特別セッションの開催
- (3) 閣僚の交代
- (4) 銃器所持の要件緩和に関する大統領令の発出
- (5) ダニエル・シルヴェイラ下院議員の逮捕及び身柄拘束の維持
- (6) ボルソナール政権の支持率

【外交】

- (1) 伯墨外相電話会談
- (2) ラカジェ・ポウ・ウルグアイ大統領の訪伯
- (3) 伯イスラエル関係
- (4) 伯米関係
- (5) 国連人権理事会開会式におけるアラウージョ外務大臣の演説

3. トピック

- (1) 第 14 回元国費留学生同窓会全国会合の開催
- (2) 天皇誕生日（ナショナル・デー）の祝賀
- (3) 令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式（在レシフェ総）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（2月発表の経済指標）

（ア）伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）に関して、2月26日時点で、GDP 成長率予測については、2021 年は 3.29%、2022 年は 2.50%で共に先週と変わらず。インフレ率予測については、2021 年は 3.87%で先週から 0.05%上昇、2022 年は 3.50%で先週から 0.01%上昇した。

（イ）12 月の鉱工業生産指数は、前月比+0.9%で 8 ヶ月連続の増加を記録。前年同期比も+8.2%を記録した。

（ウ）12 月の小売売上高は、前月比▲6.1%、前年同月比+1.2%を記録した。

（エ）全国の失業率（10～12 月）は 13.9%となり、7～9 月の移動平均 14.6%より 0.7%改善。前年同期比（2019 年 10～12 月）では 2.9%上昇した。

（オ）1 月の拡大消費者物価指数（IPCA）は 0.25%となり、前月の 1.35%から 1.1%減少。直近 12 ヶ月累計は 4.56%となった。

（カ）2021 年の貿易収支は▲11.25 億ドルと単月では 1 年ぶりとなる赤字を記録した。

(2) 経済政策等

（ア）低所得者層・非正規労働者向けの緊急給付金を 2021 年 3 月以降に再開するための憲法修正案（PEC）を議会が審議中（2月末）。

（イ）2 月、ボルソナロ大統領は国営電力会社エレクトロブラス社及びコヘイオ（郵便局）の民営化法案を議会に提出した。

（ウ）電気通信庁（Anatel）は、5G 周波数の入札に関する公告内容を承認した。入札は 2021 年上半期末に実施される予定。

(3) 金融政策

伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は 3 月 16 日及び 17 日に開催予定。

(4) 為替市場

（ア）2 月の為替市場は 5.35～5.60 レアル／ドルで推移。

（イ）月の前半は株高に支えられて 5.35～5.50 レアル台での取引。政府が緊急給付金の支給を検討し、議会と財源及び憲法修正案を巡って交渉が行われると、下落。更に税制改革・財政改革など躊躇期的な政府のアジェンダに対する不透明感が意識されてレアル売りが加速した。

（ウ）月の後半は、ペトロブラス社の燃料価格値上げに対してボルソナロ大統領が同社 CEO の 3 月任期満了に伴う交代を示唆したことで昨年 11 月以来の水準である 5.60 レアル／ドルまで下落した。

(5) 株式市場

(ア) 2月の株式市場は121,029～110,155ポイントで推移。

(イ) 月の前半はワクチン接種の進展と経済活動再開の楽観見通しを背景に115,000～120,000ポイントの高値圏で推移した。

(ウ) 月の後半は、政府が歳出上限の範囲内で緊急給付金を支給する憲法修正案が検討されると、財政の先行き不透明感が浮上、19日、ボルソナーロ大統領がペトロブラス社のCEO交代を示唆したことで同社株はじめ、国営企業の株式を中心に売られて、Ibovespaは110,000～112,000ポイントへと下落した。